

2015年度短期集中春季英語セミナー

(スーパーグローバル大学等事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」)

1. 短期集中夏季英語セミナーの概要

国際コミュニケーションセンター (SOLAC) では、文部科学省「スーパーグローバル大学等事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」の一環として、平成28年2月9日から3月2日まで、短期集中春季英語セミナーを開催した。実施したセミナーは「TOEFL® 短期集中セミナー」「Academic Speaking 短期集中セミナー」である。

各セミナーの目的は、以下の通りである。

TOEFL® 短期集中セミナー	留学の際に必要な TOEFL® のスコアアップを目指すセミナー
Academic Speaking 短期集中セミナー	ディスカッションをする為の練習の場としてのセミナー

又、本セミナーの対象・クラスサイズ・使用言語は、以下の通りである。

対象者	神戸大学の学部学生・大学院生
クラスサイズ	原則として、1クラスにつき10名～15名の少人数制
使用言語	英語

2. セミナーの実施内容

開講された各セミナーの名称・講師・日程は、以下の通りである。なお、Course Description等の詳細は、5. 参考資料に示す。

2.1 TOEFL® 短期集中セミナー

(1) <セミナー名> Writing & Reading for TOEFL®

<講師> David Kolf

<日程> 2月9日(火),10日(水),12日(金),15日(月) 2,3限 (計8コマ)

(1) <セミナー名> Listening & Speaking for TOEFL®

<講師> David Kolf

<日程> 2月16日(火)～19日(金) 2,3限 (計8コマ)

2.2 Academic Speaking 短期集中セミナー

<セミナー名> Academic Speaking Intensive Course

<講師> Ellen Rettig-Miki

<午後> 2月26日(金),29日(月),3月1日(火),2日(水) 3,4限 (計8コマ)

3. 実施実績

TOEFL®セミナーは、前回開催の夏季セミナー受講者からの、「セクション別に学びたい」というフィードバックを参考にし、Writing, Reading セクションに特化したセミナーと Listening, Speaking セクションに特化した2つのセミナーを開催した。

Writing & Reading セミナーでは、文章読解に関する予備知識などを学び、長文問題の解答練習をおこなった。Listening & Speaking セミナーでは、頻出する難解な語彙の紹介とともに、考えを明確に表現する為に役立つフレーズを学んだ。又、Integrated task として学習することで、4技能 (writing, reading, listening, speaking)のスキルを高める練習をし、学習方法や有益なウェブサイトも紹介された。

Academic Speaking セミナーでは、Academic Speaking の基本表現を学習し、ペアワーク、小グループワークでディスカッションを体験、又、ショートプレゼンテーションや様々なスタイルのスピーキングスキルを学習した。

各セミナーの受講者数は、以下の通りである。

セミナー／コース名	講師	受講者数	応募者数
【TOEFL®短期集中セミナー】			
Writing & Reading for TOEFL®	David Kolf	17	18
Listening & Speaking for TOEFL®	David Kolf	16	17
【Academic Speaking 短期集中セミナー】			
Academic Speaking	Ellen Rettig-Miki	10	11
計		43	46

以下に学部・学年別受講者の内訳を示す。

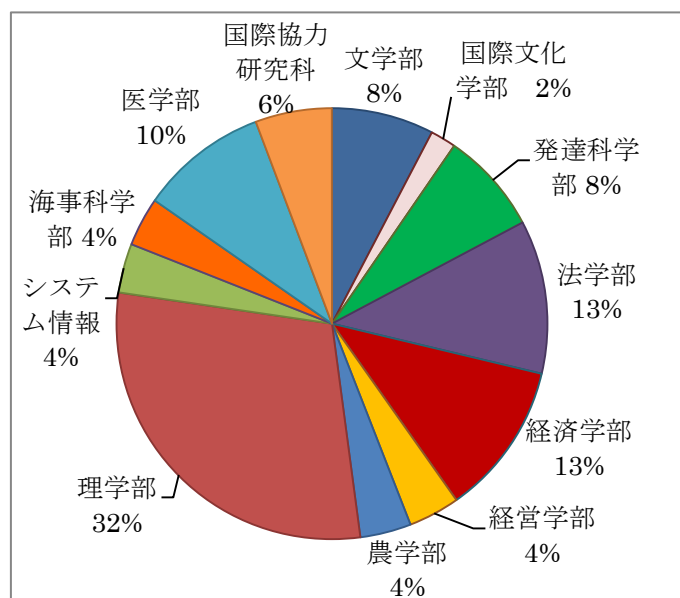
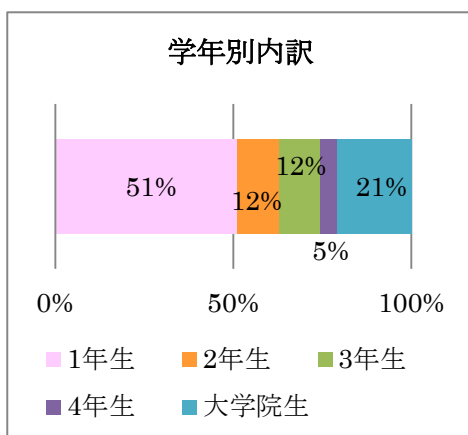
受講者述べ総数 43名

注：空欄は受講者が0であったことを示す。

	小計	1年		2年		3年		4年	大学院
		学年	(GEC生)	学年	(GEC生)	学年	(GEC生)	学年	学年
文学部	4	4	2						
国際文化学部	1	1							
発達科学部	4	1	1	1	1			2	
法学部	6	4	2			1			1
経済学部	6	6	4						
経営学部	2	2	2						
農学部	2			1					1
理学部	8	2		1		4			1
システム情報	1								1
海事科学部	1			1					
医学部	5	2		1					2
国際協力研究科	3								3
受講者数	43	22	11	5	1	5	0	2	9

短期集中春季英語セミナーは、グローバル英語コース（GEC）の対象学部生を主たる対象としたものであるが、この取組は全学的な取り組みへと発展することを目指したものである為、取組学部（文、国際文化、発達科学、法、経済、経営学部）の学生の受講を優先した上で、定員の範囲内で取組学部以外の学生の受講も認めた。今セミナーでは、取組学部以外の参加者が増え、受講者比率はほぼ均衡しており、最も参加者が多かったのは、理学部であった。学年別では、1年生が最も多く全体の約51%、次に大学院生で21%であった。GEC生の受講は、全体の3割にとどまった。

以下に、応募者の学年別、学部別のグラフを示す。



4. 受講者へのアンケート結果報告

今後のセミナーの改善を図る為の参考にする為、各セミナー終了後、セミナーに対する感想や意見を記入してもらうアンケートを実施した。

アンケート集計結果（回答件数：27件）

Q1: 少人数制のセミナーを受講して、セミナーの前よりも、英語（留学）に対する学習意欲がわきましたか？		
はい、やる気ができました。	20件	74%
少しはやる気が出ました。	7件	26%
あまり変わりませんでした。	0件	0%

	Writing & Reading for TOEFL®		Listening & Speaking for TOEFL®		Academic Speaking		Total	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
少人数であった点	4	15%	5	55%	7	78%	16	59%
授業がすべて英語だった点	7	78%	7	78%	8	89%	22	81%
他受講者と意見交換ができた点	1	11%	2	22%	4	44%	7	26%
論理的な文章の書き方が具体的に理解できた点	2	22%	2	22%	3	33%	7	26%
英語を話す機会が多かった点			7	78%	9	100%	16	59%
英語を聞く機会が多かった点	5	55%	6	67%	7	78%	18	67%
その他	2	22%	1	11%	1	11%		
<ul style="list-style-type: none"> ▪ Writing への feedback がありがたかった。 ▪ Listening で聞いたことを自分でまとめる作業はあまりやってこなかったのですが、すごく効果的だと思いました。 ▪ 普段、Sクラスでないと受講できなかったコルフ先生のクラスが受けられてとてもよかったです。 ▪ You always show your passion, cool! 								

Q: セミナーで物足りなかったと思う点があれば、具体的に教えてください	
Writing & Reading for TOEFL®	<ul style="list-style-type: none"> もう少し実際の TOEFL に近い教材を使う機会が多くあっても良かったと思います。 受講者の英語レベルの幅が大きかったような気がした。数人はセミナーが簡単すぎる、もの足りないという雰囲気が漂っていた。 テキストを持っていたので、事前にどの問題を使うかを教えてほしかった。 宿題がもっとあってもよかった。 iBT 用の Writing が多くて Reading が少なかったこと。
Listening & Speaking for TOEFL®	<ul style="list-style-type: none"> スピーキングのレベルが人それぞれで、難しかった。 音源がないので、復習がしづらい。 問題をとくコツ、ストラテジーみたいなものがあるならばそれを教えてほしかった。 解説がもう少しほしかったです。 丁度よかった
Academic Speaking	<ul style="list-style-type: none"> 受講者のレベルにもよりますが、先生がもう少し質問をなげかけてくれてもよかったかもしれません。（時間の関係上難しいかも） もう少し時間がほしかったです。/4 days are too short! ディスカッションが思ったより短かったので、もう少し時間があればよかった/ This seminar should be longer. 論理的な英語の組み立て方をもっと学びたい 要領を得ない日本人学生同士での会話練習で、英会話の感覚がつかみにくかったです。

Q: 「こんなセミナーがあったらいいなあ」と思うセミナーがあれば教えてください	
Writing & Reading for TOEFL®	<ul style="list-style-type: none"> 本当にためになると思うので、国文以外での開催！を希望します！別キャンパスの人で来たい人がたくさんいると思います。 リスニングを伸ばせるセミナー
Listening & Speaking for TOEFL®	<ul style="list-style-type: none"> リスニング集中セミナー 1~2 コマ程度で IELTS と TOEFL の違いを体感できるクラス くだけた英会話セミナー/日常会話セミナー
Academic Speaking	<ul style="list-style-type: none"> もっともっとたくさんのスピーキングセミナー 複数のネイティブ講師や留学生が参加し3対1くらいでひたすら話す機会を持てるようなセミナー アイエルツ対策セミナーなど語学試験セミナーをより多くひらいてほしいです。

	<ul style="list-style-type: none">・ もっと長め（時間的）でもいいかなーと思いました。・ Academic essay の書き方を教えてもらえるセミナー(自分の書いたものに対してアドバイスがもらえるような)・ TOEFL Speaking の議題をテーマにして英語で話す力をつけるセミナー・ TED talks などをもとに Summarizing をする授業
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

アンケート結果からも明らかなように、今回のセミナーでも多くの受講生から、授業が英語で行われたことで、聞く・話す機会を持てたことに満足し、更に英語学習に対する意欲が湧いたとの回答結果があった。のべ受講者の約半数の人が、主に短期の海外滞在経験者であったが、全体の約8割の人がさらに近い将来、短期あるいは長期留学を希望している。他の2割の受講者は、就職後英語を使う必要があることがわかっているから、又は英語力をさらに磨きたいからというのが受講の理由であった。

TOEFL[®]セミナーは今回、Writing, Reading セクションに特化したセミナーと Listening, Speaking セクションに特化した2つのセミナーを開催したが、TOEFL[®]セミナー受講者の約7割が両セミナーを受講した。大学院進学や留学の為など目的によって、iBTの準備をしたい者、ITPの準備をしたい者がそれぞれ半数であったことが分かったため、更に今後のセミナー運営の参考としたい。

Academic Speaking セミナーは、大学院生、あるいは高学年生の受講が半数以上であった為か、潜在的に英語力が高く、GEC生やKUEPCON(神戸大学英語プレゼンテーションコンテスト)出場者が戸惑うくらいであった。しかしそれが良い刺激となり、さらなる向上心につながったようである。担当講師が用意した資料については好評で、場合に依じた様々な表現などもリストアップされており、今後も活用できるというコメントがあった。4日間の開催であったが、「短すぎる」というコメントが多く、“Speaking”への学習意欲がうかがえる。又、グループワークを重ねる間に受講者同士に連帯感が生まれ、セミナー最終日が終了した後、記念撮影をし、“打ち上げ会”の場を持ったほどであった。

本セミナーは単位取得できるセミナーではない為、最終的な受講率が低くなるのが問題となることがあるが、今セミナーでは最終受講率が高く、Academic Speaking セミナーは、全員が最終日まで熱心に受講していた。いずれにしても、語学力の向上という同じ目的を持ちながら、学部・学科の枠を超えて、さまざまな価値観に触れることで、自身の新たな発見や視野が広がるきっかけになったことは、本セミナーを開催した意義が大きかったと言える。又、講師の先生たちの熱心な指導が、受講生の満足度や今後の学習意欲につながっていると見える。今後とも、受講者の自主学習の後押しになるセミナーを企画し、コミュニケーション能力をさらに高めるきっかけになることを望みます。

5. 参考資料

【TOEFL® 短期集中セミナー】

[TOEFL® Intensive Seminar]

D503 教室

Writing & Reading for TOEFL®

Instructor: David Kolf (Seido Institute Cultural Programs Chair)

Course Description: Advice will be given on how students can prepare on their own: useful websites and resources will be presented as well as strategies regarding time allotment and self-study.

Schedule

February 9th	10:40-12:10	Introduction (test format)
	13:20-14:50	
February 10th	10:40-12:10	Run-on sentence
	13:20-14:50	Pronoun Reference
February 12th	10:40-12:10	Sentence fragments
	13:20-14:50	Paragraphs, Essays
February 15th	10:40-12:10	Proofreading
	13:20-14:50	Suggestions for Self-Study

Knowing how information is organized facilitates understanding of reading passages. Class size is small, so students can receive feedback on their writing. All of the classes have a variety of activities.

Listening & Speaking for TOEFL®

Instructor: David Kolf (Seido Institute Cultural Programs Chair)

Course Description: Advice will be given on how students can prepare on their own: useful websites and resources will be presented as well as strategies regarding time allotment and self-study.

Schedule

February 16th	10:40-12:10	Introduction (test format)
	13:20-14:50	
February 17th	10:40-12:10	Vocabularies
	13:20-14:50	
February 18th	10:40-12:10	Useful phrases
	13:20-14:50	
February 19th	10:40-12:10	Phrases for Speaking section
	13:20-14:50	

Knowing how information is organized is a necessity for the speaking section, and it facilitates understanding of listening.

Class size is small, so students can receive feedback on their speaking. All of the classes have a variety of activities.

[Academic Speaking 短期集中セミナー]

[English Speaking]

D404 教室

English Speaking intensive seminar

Instructor: Ellen Rettig-Miki

Course Description: This intensive course is designed to give students exposure to and practice in using English for academic purposes, The course will be taught entirely in English, giving students chances to practice using English in ways that they would need for academic contexts: this will include areas such as introducing, explaining, presenting, discussing, and persuading, among others. The level of this course is designed to offer a chance to practice English in a way authentic to real-life academic needs.

Schedule

Date	Focus
February 26th	Students will practice speaking one-on one, in presentations, and in small-group discussions, learning to use skills necessary in academic speaking to
February 29th	<ul style="list-style-type: none">➤ Introduce➤ Question, Check, and Report
March 1st	<ul style="list-style-type: none">➤ Present: Organize and Deliver➤ Give Feedback➤ Narrate
March 2nd	<ul style="list-style-type: none">➤ Brainstorm and Select➤ Gather and Organize Information➤ Get Language Help and Clarify Meaning➤ Give Background and Set Up a Discussion➤ Support a Position to Persuade➤ Respond and Discuss➤ Summarize and Finish

The schedule and content may be subject to some minor changes.